

# 2016年度 法科大学院

## 地方入学試験問題

2 時限

民法

(論文式)

試験時間 60 分

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [民法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

なお、現行法のもとで答えなさい。新民法（平成 27 年 3 月 31 日国会提出「民法の一部を改正する法律」）は考えなくてよい。

また、問題文からは事実が不明である場合、適宜、場合を分けながら答えなさい。

### 設問 1

Aは自己所有の甲土地をBに賃貸し、Bは甲土地上に乙建物を建築して居住していた。Aは甲土地をCに譲渡した。

- (1) CはBに対して、乙建物除去および甲土地明渡しを請求することができるか。
- (2) CはBに対して、甲土地の賃料支払を請求することができるか。

### 設問 2

Dは自己所有の丙建物をEに賃貸した。Eは配偶者であるFとともに丙建物の2階に住み、1階で料理教室を開いていたが、それがクチコミで評判を呼んだ。Eは、Fから手広く商売をしてはどうかとすすめられたこともあり、Fを株主および役員としてG株式会社を設立し、引き続き丙建物内で料理教室を開くかわら、キッチン・グッズや洗剤を売り出し、連日評判となった。法人成りをしたことも知らされぬまま、長年の友人であるEの成功を聞くに及んで妬んだDは、なんとかしてEを追い出そうと願い始めたが、可能か。

(解答は全て解答用紙に記入すること)